



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月4日

上場会社名 グレイステクノロジー株式会社
 コード番号 6541 URL <https://www.g-race.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 松村幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 飯田智也

TEL 03-5777-3838

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	176		4		2		3	
29年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.84	0.78
29年3月期第1四半期		

(注)当社は、平成29年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第1四半期の実績並びに平成30年3月期第1四半期及び平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,131		818			72.0
29年3月期	1,273		865			68.0

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 814百万円 29年3月期 865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 29年3月期期末配当金の内訳普通配当35円00銭記念配当15円00銭

3. 30年3月期の配当予想額は、未定であります。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	590	35.6	160	55.5	159	57.7	103	54.3	23.57
通期	1,300	28.6	400	33.1	398	35.2	260	32.1	59.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	4,370,000 株	29年3月期	4,370,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	33 株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	4,369,978 株	29年3月期1Q	株

(注)1. 当社は、平成28年9月12日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成29年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

2. 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。これに伴い、平成29年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出は回復が一服しているものの、堅調な雇用・取得情勢を受けて、個人消費も緩やかに回復をしております。ただし、働き方改革等の影響もあり、国内大手メーカーでは、業務効率化・コスト削減の動きが続伸しております。そのなかで、当社が提供しているマニュアル制作の高効率化を実現するサービスは、企業のニーズとマッチしており需要が高まっております。

このような経済環境のなか、当第1四半期累計期間では、前事業年度から継続する重点顧客戦略を強化するために名古屋に営業拠点を設けました。また、前事業年度での懸念事項であった人員不足を解消すべく、中途人材の採用及び来事業年度に向けての新卒採用等、人材募集に注力し、事務所の借り増し等の受入れ準備を進めるなど、事業促進のための施策・投資に積極的に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高176百万円、経常利益2百万円、四半期純利益3百万円となりました。

当第1四半期累計期間の業績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

(MMS事業)

MMS事業においては、売上高の季節的変動要因の影響はあるもののe-manual利用案件の積み上げもあり、売上高86百万円、セグメント利益28百万円となりました。

(MOS事業)

MOS事業においては、重点顧客への積極的な是正提案等を進めておりますが、売上高の季節的変動要因の影響により、売上高89百万円、セグメント利益36百万円となりました。

なお、当社は前第1四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比は記載しておりません。

② 売上高の季節的変動について

当社の主要顧客先は国内大手メーカーであることから、国内大手メーカーの予算執行期日が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は1,131百万円となり、前事業年度末に比べて141百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は1,080百万円となり、前事業年度末に比べて160百万円減少となりました。これは主に、未払法人税等の支払いや剰余金の処分を行ったこと等により現金及び預金が112百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が49百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は50百万円となり、前事業年度末に比べて18百万円増加となりました。これは主に、投資その他の資産が20百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は157百万円となり、前事業年度末に比べて84百万円減少となりました。これは主に、未払法人税等が71百万円、支払手形及び買掛金が26百万円減少したもののその他が8百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は155百万円となり、前事業年度末に比べて9百万円減少となりました。これは主に、社債が5百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は818百万円となり、前事業年度末に比べて46百万円減少となりました。これは、主として、剰余金の処分を行ったこと等により利益剰余金が50百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表(平成29年5月9日)の業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって当第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,055,119	942,733
受取手形及び売掛金	138,128	88,821
仕掛品	157	302
その他	48,142	49,160
貸倒引当金	△261	△139
流動資産合計	1,241,285	1,080,879
固定資産		
有形固定資産	4,561	4,238
無形固定資産	21,630	20,281
投資その他の資産	5,731	26,177
固定資産合計	31,924	50,697
資産合計	1,273,210	1,131,576

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,817	34,381
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
未払法人税等	71,596	132
賞与引当金	10,656	14,822
その他	59,435	68,390
流動負債合計	242,501	157,722
固定負債		
社債	100,000	95,000
長期借入金	35,006	32,507
その他	30,097	27,667
固定負債合計	165,103	155,174
負債合計	407,604	312,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,049	62,049
資本剰余金	325,407	325,407
利益剰余金	477,797	426,842
自己株式	-	△125
株主資本合計	865,253	814,173
新株予約権	352	4,506
純資産合計	865,605	818,679
負債純資産合計	1,273,210	1,131,576

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	176,459
売上原価	49,367
売上総利益	127,092
販売費及び一般管理費	122,389
営業利益	4,703
営業外収益	
受取利息	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	581
売上債権売却損	1,711
営業外費用合計	2,293
経常利益	2,410
税引前四半期純利益	2,410
法人税、住民税及び事業税	132
法人税等調整額	△1,391
法人税等合計	△1,258
四半期純利益	3,669

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	MMS事業	MOS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	86,856	89,603	176,459	—	176,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	86,856	89,603	176,459	—	176,459
セグメント利益	28,929	36,796	65,725	△61,022	4,703

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配賦しない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。